

# 令和2年度事業計画

## 1. 基本方針

近年、有効求人倍率が全国的にも高水準の状態が続き、雇用情勢が大きく改善する一方で、少子高齢化に伴う人口減少の影響もあり、企業における外国人労働者の受け入れなど、人手不足が顕在化し、深刻な問題となっております。

こうした中、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現に向けて、高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待は一層大きなものになっています。

このため、労働者派遣事業における高齢者派遣の優位性を活かし、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の活用を通じ、その活動拠点となる天理市事務所として、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献し、センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うための「会員の確保・拡大」が重要課題となっております。

また、請負・委任による受託事業や、職業紹介事業など、高齢者の多様な就業機会の拡大に努め、普及啓発活動や地域に密着したサービスの充実を図り、安全・適正就業の更なる意識向上を推進し、従来にも増して効果的な運営を行います。

令和2年度も引き続き、シルバー事業の「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、会員の皆様や関係機関と連携強化を図り、事業の推進に取り組んでまいります。

## 2. 具体的方針

### (1) 会員の確保・拡大

シルバー事業を円滑かつ安定的に行うためには、就業する会員の確保・拡大が不可欠です。

このため、周知・広報活動等を積極的に行い、会員増加に向けた取組事例集を参考に、健康で働く意欲のある高齢者の入会を促進し、退会抑止に努めます。

- ① 新規入会説明の随時対応
- ② 会員の口コミによる新規会員の勧誘
- ③ PDCA サイクルによる目標管理
- ④ 退会希望者へのヒアリング
- ⑤ 退会者に対する再入会の勧奨

## (2) 就業機会の拡大

就業機会の拡大に向けて、公共事業・民間企業及び一般家庭の多様化する仕事のニーズに積極的に対応するため、以下の事業等を実施する。

- ① 請負・委任による受託事業
- ② 奈良県シルバー人材センター協議会の天理市事務所として、シルバー派遣事業
- ③ ハローワーク等関係機関と連携した職業紹介事業
- ④ サービス業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野での就業機会の開拓・マッチング等を推進する「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」

## (3) 普及啓発活動

センターの事業理念や事業内容を地域住民・事業所等に周知して理解と協力を得るために、普及活動を推進します。

- ① インターネット環境の充実によるホームページの活用
- ② 市広報誌「町から町へ」に年2回の掲載
- ③ 奈良県シルバー人材センター協議会主催の「シルバーフェスタ」に参加（パネル展示等）
- ④ チラシ・リーフレットの作成・配布
- ⑤ 天理市総合防災マップに掲載
- ⑥ のぼり旗の作成

## (4) 安全・適正就業の推進

就業現場の安全確認と巡回指導を実施し、就業会員に安全で適正な就業の意識向上を推進します。

- ① 安全就業パトロールの実施
- ② 安全就業強化月間に「安全の心得10カ条」の再確認（7月）
- ③ 県内安全就業担当者会議への参加
- ④ 「安全就業ニュース」や「ヒヤリ・ハット事例集」の活用
- ⑤ 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の活用

## (5) 事業運営の効率化・安定化

全国シルバー人材センター事業協会、近畿シルバー人材センター連絡協議会、奈良県シルバー人材センター協議会及び先進地シルバー人材センター、奈良県下拠点シルバー人材センター等から多種多様な情報を収集し、より一層の事業運営の効率化に努めます。

また、万が一の事態に備え、以下の保険に加入します。

- ① シルバー人材センター団体傷害保険
- ② シルバー人材センター賠償責任保険
- ③ 役員賠償責任保険
- ④ 個人情報漏えい保険

(6) 会員相互の連携、センター組織力の向上

役員・事務局・会員の協力により、職域・地域組織の結成に努め、シルバー人材センター会員の就労の円滑化を図ります。

また、発注者の多種多様なニーズに対応する為、事業運営や会員の就業に必要な知識・技能の習得を目的とする講習会・研修会・会議等に積極的に参加します。

そして、シルバー事業の基本理念『自主・自立・共働・共助』を再確認し、会員相互の連携を図り、組織力の向上に努めます。